

日本共産党市議会だより

団長 松浦敏司 幹事長 村椿敏章
網走市北8西3 Tel / 43-4458

12月議会

12月10日～19日

村椿議員の一般質問

松浦敏司議員の一般質問

福祉灯油の実施を！



松浦議員は、「灯油価格の状況では高止まりの状況が続いている。網走消費者協会の調べでは、1ℓ当たり平均95.5円となっている。日用品価格の値上がりが続き、2度にわたる消費税の増税で低所得層への経済的影響は厳しい状況にある」として、福祉灯油の実施を求めました。

健康福祉部長は、本年4月から乳製品・冷凍食品・食料品の値上げが実施され、低所得者層への影響はある。消費税10%による影響もあるが、国は低所得者層対策として幼児教育・保育の無償化、年金者支給給付金の支給、プレミアム商品券の販売など取り組んでいる。福祉灯油は灯油価格が90円台を推移しているので現時点では実施を考えていないとの答弁。

※松浦議員は、引き続き福祉灯油の実施を求めることが必要であると述べていました。

難聴者に補聴器の助成を！

「聴力が低下して難聴になりコミュニケーションが取りづらくなり社会活動にも影響するなど、近年では認知症との関連も指摘されている」として、市独自の事業の取組で、難聴児という言い方をしていくのが何歳までを対象としているのか質問。

健康福祉部長は、軽度・中等度難聴児に対して、平成27年度から取り組んでいる、支給実績は平成28年度の1件のみとなっている。事業の対象は、18歳未満となっていると答弁。

次に、障がい者への補聴器について、国の制度としては、どのような範囲で補聴器の助成・支援をしているのか質問。

健康福祉部長は、対象は、聴覚による身体障害者手帳6級以上を所有し、医師により補聴器が必要と認められ、かつ、北海道心身障害総合相談所の判定により支給が適当と認められた方が対象となるとの答弁。

※松浦議員は、現状では相当ハードルが高い状況であり、更なる住民運動が必要だと述べていました。

障がい者の雇用について

(問) 障がい者の雇用状況について質問。



(答) 福祉施設A型は1事業所31名、B型は6事業所74名。一般企業はハローワーク管内に45社76名。網走市のみの実態把握に努めていく。

(問) 差別や虐待への対応は？

(答) 虐待については市が窓口となり、北海道が実地指導する。虐待に至らない場合は市が事業者に状況確認し、口頭指導をしている。

(問) 支援員の教育や研修が虐待防止につながる。研修の実施状況は？

(答) 事業所ごとの研修については市は把握していない。

村椿議員は事業所ごとの研修について把握するよう求めました。

日体大付属高等支援学校について

(問) H25年度以降の事業着手後の事業費は？

(答) 土地建物、走路、設備で6億9300万円。走路の2分の1は国からの交付金を、設備には「ふるさと基金」を使用しており、実質市の負担は3億100万円になる。

(問) 今後かかる経費はあるのか。学校側との協定はあるのか。

(答) 協定を27年に結んでおり、今後、日体大が必要とする施設の整備を聞き、その中で判断する。

環境問題について

(問) 地球温暖化対策は待ったなしの状況であり、網走市の対策は？

(答) ストップ・ザ・温暖化のチラシにて啓発や市民アンケートの実施などを行っている。

(問) 生ごみ肥料による効果は？

(答) 年2145tのCO2削減となっている。村椿議員は分別が「温暖化ストップ」につながることを周知するよう求めました。

議員報酬条例の期末手当の補正予算案に反対



補正予算案には人件費の補正があり、職員の給与や特別職の給与について人事院勧告に従い、期末手当の支給月数を0.05ヶ月分増やすものです。しかし、その中には議員報酬条例の期末手当の支給月数も含まれており、議員は人事院勧告の対象でないことから日本共産党議員団は、この補正予算には賛成できないとして、村椿議員が反対討論をしました。その後、採決の結果、日本共産党以外の賛成多数で可決されました。

網走厚生病院に

脳神経外科病棟が開設

文教民生委員会が12月13日に開かれ、補正予算として、網走厚生病院に脳神経外科病棟を開設することに伴う費用負担1億9345万円について審査され、全会一致で可決し、12月19日の本会議においても全会一致で可決されました。

脳神経外科病棟は、今年1月6日から診察が始まっています。さらに2月から医師が派遣され、3名体制となり、手術に対応することができるようになります。



新庁舎建設地はまだ決まっていません

市民の声

市は建設位置を決めたと聞いていますが？

建設位置は市議会で2/3以上の賛成が必要です。市長の意志だけでは決められないのです。

十分な議論がされないと議会で結論を出すこともできません。

市民の声

場所ありきで進められているのではないか

市長の諮問機関である「新庁舎建設検討委員会」が6月17日から開かれ、9月4日の第3回では「建設場所を決定」。10月1日の第4回では右の図が市から提案され、金市館ビル跡地周辺しかないように進められています。

市民の声

想定外の津波災害に対応するため、高台エリアに建設すべきではないか

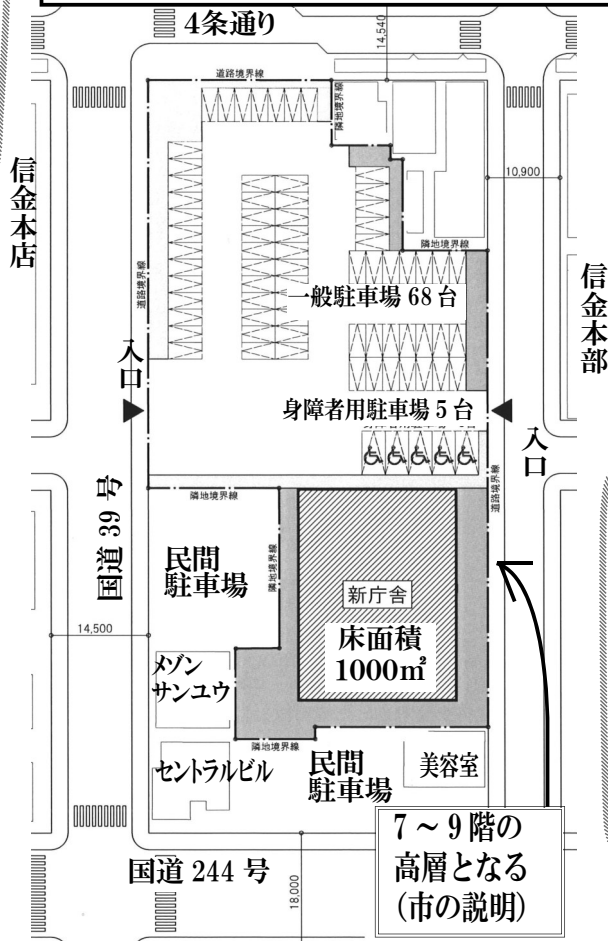
災害対応の拠点となるのは市役所です。世界的な気候変動により大規模な災害が毎年のように起こっています。これからは、大雨による河川の増水と高潮による洪水も心配です。

防災への対応ができる高台エリアを検討すべきです。

現在、市街地はお祭りなど多くの市民が集まります。ラルズ跡地は様々なイベントに有効活用され、市民が集いやすく市街地の活性化につながっています。
日本共産党は、国の財政的支援も大事なことであります。市庁舎は50年以上も使用される建物です。市民の声を聞いて慎重な検討が必要だと考えます。

市は金市館ビル跡地周辺地域が適地として新庁舎建設の論議を進めています。しかし、全国で想定外の豪雨による災害が続いています。「今までなかったから網走市は大丈夫だ」とは言えません。
市庁舎は想定外の豪雨や津波があった時には、災害対策の拠点となります。その庁舎が水につかり、孤立するようなことは避けなければなりません。

市が示した配置イメージ図
(市のホームページより転載一部加筆しています。)



市民の声

中心市街地の活性化につながると思えない

今の庁舎位置とそれほど変わらない金市館ビル跡地周辺に庁舎を建てても中心市街地の活性化につながると思えません。

市民の声

駐車場は大丈夫なのか

敷地が候補地の中で一番狭く、駐車場も73台と現庁舎と変わらない台数です。今でも3月～4月の混雑時は対応できなくなっています。入り口となる道路幅が狭く、出入りが大変です。冬はなおさら...

市議会新庁舎建設特別委員会

市議会に設置された「新庁舎建設特別委員会」では建設候補地の5ヶ所の視察をし、下記の③の除雪センター敷地と⑤の桂町球技場は不適であるとの共通認識となりました。

建設候補地

- ① 現本庁舎敷地
- ② 金市館ビル跡地周辺敷地
- ③ 除雪センター敷地
- ④ 市営住宅潮見団地整備余剰地 (潮見7丁目公住跡)
- ⑤ 市営桂町球技場敷地 (旧網走高校グラウンド)

また、12月13日に行われた特別委員会では、各候補地の一長一短はあるが「②の金市館ビルが望ましい」や「②は面積が狭いので隣接する土地を確保するか別の新たな場所も検討する」、「防災の面から高台が良い」、「震災はいつ起こるかわからないので建て替えを急ぐべき」などの意見が出されました。

現時点では、特別委員会として建設位置の一致はできていません。

今年3月に行われる定例会本会議において中間報告を行うことになり、中間報告に向けてさらに議論を進めることになっています。

松浦 敏司

090-3391-7192
ブログ「奮戦メモ」と検索して下さい

村橋 敏章

090-9683-2858

生活相談・なんでも相談

お受けしています

お気軽に左記の両議員か、43-4458か、メール kyosanto@bz04.plala.or.jp へお寄せください。

網走市委員会のホームページになります。ご意見などをお寄せください。

